

第2回「ミニ観察会」実施概要

【実施日時】 令和4年（2022）6月25日（土）19:30～6月26日（日）5:30

【実施場所】 有峰ビジターセンター北側

【天候】 曇一時 晴れ

【気温】 17.2→14.3°C

【月齢】 25.6 →26.6

有峰ハウスに宿泊した「若獅子の会」のメンバーのご依頼でミニ観察会を実施しました。直前まで、雷雨に見舞われたため、開催が危ぶまれましたが、19:30過ぎには雷雨も上がり 20:00有峰ビジターセンター（VC）に参加者が来館、受付を開始、検温やアルコール消毒を実施してコロナ対策に努めました。参加者の内訳は、大人7人、小人6人の合計13人でした。

VC内にて、文化村の概説や灯火採集法についての説明を行い 20:20より、VC北側のライトラップ会場に移動、ミニ観察会をスタートしました。

開始直後、事前に説明をしていたオオミズアオ♂が飛来。参加者から歓声が上がりました。引き続き、オオミズアオ♀も飛来、オオミズアオの雌雄の違いについて、霜鳥主任指導員より説明、参加者全員で飛来したオオミズアオの♂♀の違いを確認しました。子供達は興味津々、手で直接触れてみるお子さんもいました。オオミズアオ（大水青、学名 *Actias aliena*、旧学名 *Actias artemis*）旧学名は、ギリシャ神話の月の女神、アルテミスに由来しています。「水」を連想する青白色の神秘的なこのヤマユガ科の仲間オオミズアオに参加者はうっとりしていました。次に、白幕に飛来したミヤマクワガタの♀を一人のお子さんが見つけ、歓声が上がりました。

このほかスズメガ科のサザナミスズメやシャクガ科のミモンエダシャク、シャチホコガ科のシャチホコガなどが飛来、皆で観察を行い、野帳に記録しました。個別に「森の案内」が可能かと質問され、「予約いただければ可能です。」とお答えすると、また是非有峰に来たいと抱負を述べられました。こうした企画でリピーターが増えることを期待しています。終始盛況でしたが 眠くなってきたお子さんもおられ 21:30には終了しました。

科名	種名	飛来頭数	飛来時間帯
ヤマユガ	オオミズアオ	♂2 ♀1	20:20～23:00
	オナガミズアオ	♂1	22:00
シャクガ	ウスキツバメダシャク	♂1	21:00
	カキシロスジアオシャク	♀1	21:40
	ミモンエダシャク	♂1	20:20
	ミスジシロエダシャク	♂1	21:30
カレハ	マツカレハ	♂1 ♀1	21:40～22:50
	リンゴカレハ	♂3 ♀1	21:30～22:40
シャチホコガ	シャチホコガ	♂1 ♀1	21:00～22:00
	アカネシャチホコ	♂1	21:30
	モンキシロシャチホコ	♀1	21:30
	アオセダカシャチホコ	♂1 ♀1	21:40～22:50
	セダカシャチホコ	♂1	21:30
	ブナアオシャチホコ	♀1	22:00
	種未同定2種	♂2	21:30～23:10
スズメガ	クロホウシャク	♂2 ♀2	21:00～22:50
	モモスズメ	♂3 ♀1	21:30～22:10
	クチバスズメ	♂2 ♀1	21:40～22:00
	ヒメクチバスズメ	♂1 ♀2	21:00～22:40
	サザナミスズメ	♂1	21:30
	ハネナカブトウスズメ	♂1 ♀1	21:30～23:00
	ヨツボシホリハ	♂2 ♀2	21:10～23:00

ヒトリガ	スジベニコケガ	♂1	21:30
	アカハラコマダラヒトリ	♂2 ♀1	21:00～22:40
	クロフシロヒトリ	♂2	21:10～23:30
コブガ	アオスジアオリンガ	♂2	21:10～21:40
クワガタムシ	ミヤマクワガタ	♀1	20:35



灯火採集法について聴講中の参加者



灯火採集見学中の参加者



飛来した蛾類観察中の参加者



オオミズアオに触れる参加者



飛来したオオミズアオ♀



飛来したオナガミズアオ♂



飛来したアオスジアオリンガ



飛来したヒメクチバスズメ